

杉無垢板の剥ぎ加工によるダイニングテーブルの製作について

横浜のお施主様に弊社(株)マルダイ(富士市)まで来て戴いて、テーブル用の杉材を選んでいただきました。

そして、1枚板で希望の板幅が取れないことと、割れ節を避けたいこともあり、2枚の無垢板で1枚板風に見えるように剥ぎ加工にて天板を作ることになりました。

また、天板に使用しない部分はテーブルの幕板、反り止めに使い、脚だけは105*105角の柱材より木取ることになりました。

A部+B部=天板幅900として

残り材：幕板、反り防止裏棧とします。



お施主様が選んだ2枚の杉板です。

木取りの要望が確定し、確定図面を仕上げました。

ダイニングテーブル

確定図 S=1/15

承認印



画像確認の事。

仕様

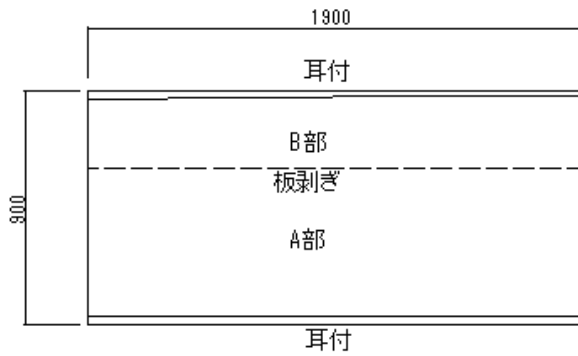
天板：杉無垢板 2枚剥ぎ

幕板、反り止め：共材杉無垢

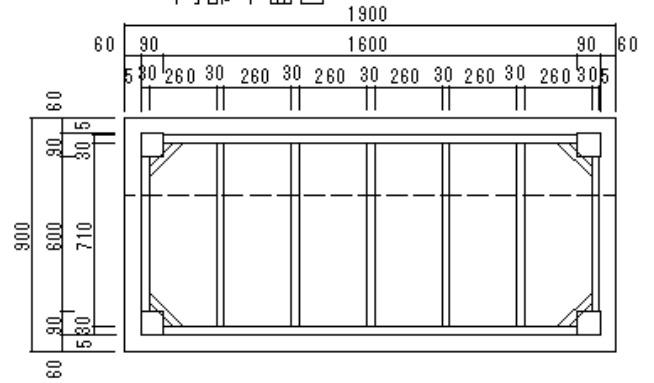
脚：90*90無垢、アジャスター付き

塗装：グラノール 艶消し（天板：4回塗り）

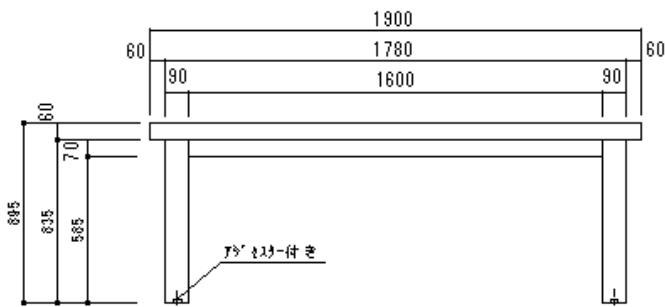
平面図



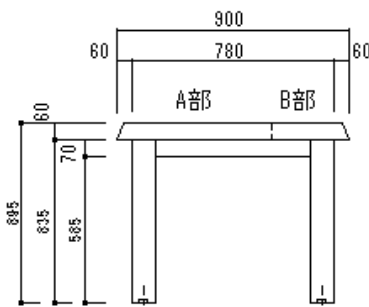
内部平面図



長辺正面図



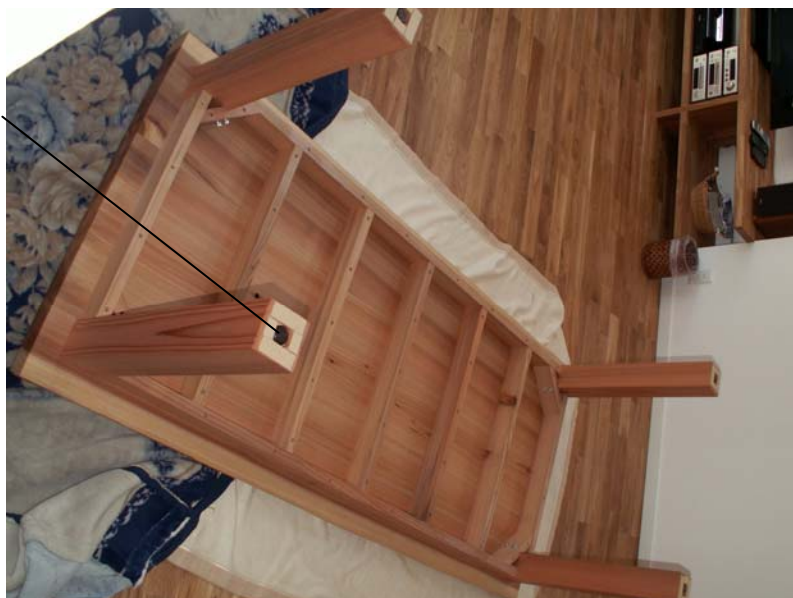
短辺正面図



(株)マルタイ 家具部
平成23年3月10日

塗装は自然の味わいを維持するために、ガラス塗料のグラノール艶消しを使用し、天板に関しては4回塗りとしております。

アジャスター付き





脚部、幕板、裏棧取り付け状況。

A,B 部接合箇所です。





A,B 天板接合箇所です。

柁目部で接合していますので
ジョイント箇所がちょっと
分かりにくくなりました。
1枚板に近い仕上がりです。



希望の天板イメージを形に出来、板厚 t60 板幅 900 長さ 1900 も図面通り仕上がりました。

(株)マルダイ家具部 Da・Monde 鈴木
平成 23 年 4 月 4 日